

〔採用に関するお問い合わせ〕

財務省

大臣官房秘書課

〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1
TEL.03-3581-4111(内線5305)



財務省

国の信用を守り、希望ある社会を次世代に引き継ぐ。



財務省本省
一般職採用HP



公式Twitter

https://www.mof.go.jp/about_mof/recruit/mof/index.htm



一般職入省案内 2023

01 目 次

03 財務省の使命／巻頭言

05 財務省の組織

06 財務省の活動

【第1部】財務省の業務

07 主計局 13 大臣官房

09 理財局 14 関税局

11 国際局 14 主税局

【第2部】財務省のキャリアパスと制度

15 先輩職員のこれまでの歩み

17 若手職員の業務紹介

18 財務省職員の活躍するフィールド

19 出向者からのメッセージ

21 メンター制度

22 ワークライフバランス

【第3部】特 集

23 係員の一日

24 係員の一週間

25 若手職員座談会

27 令和4年採用職員からのメッセージ

29 若手職員アンケート

31 採用担当者からのメッセージ

32 採用に関してよくあるご質問 Q&A

財務省の使命

国の信用を守り、 希望ある社会を次世代に引き継ぐ。

納税者としての国民の視点に立ち、効率的かつ透明性の高い行政を行い、国の財務を総合的に管理運営することにより、広く国の信用を守り、健全で活力ある経済及び安心で豊かな社会を実現するとともに、世界経済の安定的発展に貢献して、希望ある社会を次世代に引き継ぐこと。

巻頭言

私たちは、この使命を胸に、
世の中の様々な課題に対して、
日々全力を尽くして取り組んでいます。
我々が生きる社会は刻一刻と変化していきますが、
皆さんが財務省の一員として、
これからの財務省の歴史を
作り上げていくことを、楽しみにしています。

財務事務次官 **茶谷 栄治**



財務事務次官
茶谷 栄治 [昭和61年入省]
CHATANI Eiji

財務省の組織

財務省

財務大臣

副大臣(2)

大臣政務官(2)

事務次官

秘書官

財務官

本省

内部部局						施設等機関	地方支分部局	
大臣官房	主計局	主税局	関税局	理財局	国際局	財務総合 政策 研究所	財務局	税関
官房長	局長	局長	局長	局長	局長	会計 センター	財務事務所	税関支署
総括審議官	次長 (3)	総務課	総務課	次長 (2)	次長		出張所	税関出張所
政策立案 総括審議官	総務課	調査課	管理課	総務課	総務課	関税 中央 分析所	税関監視署	
公文書 監理官	司計課	税制第一課	関税課	国庫課	調査課			
サイバー セキュリティ・ 情報化審議官	法規課	税制第二課	監視課	国債企画課	国際機構課	税関 研修所		
審議官 (11)	給与共済課	税制第三課	業務課	国債業務課	地域協力課			
参事官 (9)	調査課	参事官 (2)	調査課	財政投融资 総括課	為替市場課			
秘書課	主計官 (11)			国有財産 企画課	開発政策課			
文書課	主計監査官			国有財産 調整課	開発機関課			
会計課				国有財産 業務課				
地方課				管理課				
総合政策課				計画官 (2)				
政策金融課								
信用機構課								
厚生管理官								

外局

国税庁

内部部局	地方支分部局
本庁	国税局
税務署	

財務省の活動

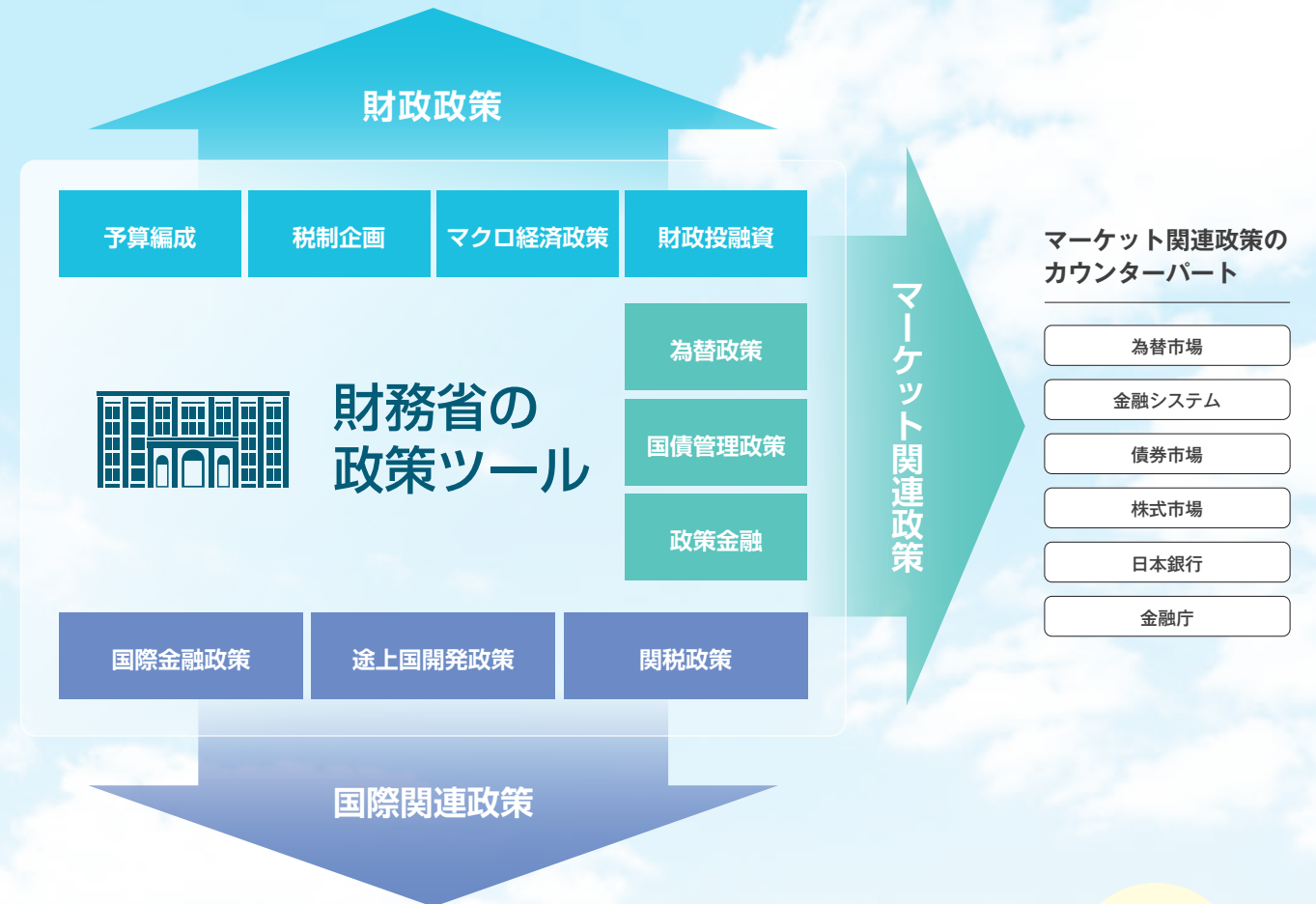
財務省の政策ツール

財務省は、国の資金の流れという観点から、国家のあらゆる分野について重要な動きに関わっています。財務省は、多様な政策ツールを有しており、またカウンターパート也多岐にわたります。政策ツールは、「財政政策」、「マーケット関連政策」、「国際関連政策」の3つに分類することができます。

財政政策のカウンターパート

内閣府	文部科学省	復興庁	経済産業省	外務省
警察庁	厚生労働省	総務省	国土交通省	防衛省
金融庁	農林水産省	法務省	環境省	デジタル庁

国内



国際関連政策のカウンターパート

G20・G7	発展途上国	IMF	WTO・WCO
国際開発金融機関(世界銀行、ADB等)			

海外

主計局

主計局主計官補佐(復興係担当)

村田 浩司 [平成10年入省]
MURATA Koji



未来に希望を持てる予算を志向する

現在の業務内容

主計局復興係で、主に東日本大震災復興予算を担当しています。

あの未曾有の災害から12年が経ち復興は着実に進んでいますが、被災地では心のケアや風評対応など引き続き重要な課題も残っています。

復興係では、予算編成を通じて復興ステージの進展に応じた支援などについて復興庁と議論し、予算成立後も担当事業の進捗把握や執行協議など、年間を通じて復興施策に関わっています。

また、本年4月に設立され、「創造的復興の中核拠点」として期待される福島国際研究教育機構の予算も担当しており、新法人の立ち上げにあたり、予算以外にも法人の位置付けや組織体制、将来展望に至るまで様々な議論をしています。

主計局の魅力・やりがい

予算編成では、予算要求(相手)側の省庁の要求を公費の効率性、公平性の担保、国と地

方の役割分担などあらゆる観点から精査しますが、そこで求められるのは単に要求された予算を削減することではありません。

私自身も復興庁予算を担当する実質的な責任者として、被災地に寄り添いながら、前例にとられない柔軟な発想で、被災地の自立にも繋がり地方創生のモデルとなる予算を作ることを目標に復興予算と向き合ってきました。

真に予算を必要としている方々がいることを忘れず、国家財政的な視点のみならず、相手省庁の立場にも立って物事を考え、そのうえで政策・事業の根底にある課題を見極め、共に課題解決していく真摯な姿勢が求められます。

相手省庁と合意形成を図っていくプロセスは一筋縄では行きません。まずは自分の頭で考え抜き、上司や部下とも議論を交わし、相手省庁とギリギリまで議論し予算をまとめていく過程はとても緊張感がありますが、国の財政を支える一員としての責任が求められる魅力的で大きなやりがいを感じることでできる仕事だと思います。

財務省を志望する方へのメッセージ

私が学生の頃は、財務省(入省当時は大蔵省)は数居が高いお役所というイメージしかなく、自分とは全く縁がない就職先だと思っていました。それが半ば興味本位で官庁訪問して早20年余、縁とは不思議なものです。

「少しでもこの国を良くしたい」、「少しでも人のために役立つ仕事をしたい」という方は、是非一度、財務省に足を運んでいただければ幸いです。

そんな思いを秘めた方々とこの職場で一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



主計局概要

国の予算の編成や決算の作成、会計制度の企画・立案等

社会保障、公共事業、教育、安全保障、食料の安定供給等、国の政策実現の裏付けとなるのが予算です。予算編成過程における各省庁との議論を通じ、分野ごとの施策の優先順位を洗い直し、無駄を排除しつつ、限られた予算を経済効果の高い施策に重点的に配分しています。近年では、その規模は100兆円を超えるものとなっており、日本の財政を担う省庁として、将来世代を含む国民の方々に対して責任ある予算編成が求められています。また、予算編成のみならず、予算に関連する法律・制度の見直しや、予算の使用状況を示す決算の作成、予算執行調査等、予算の見直しに繋げていく取り組みも実施しています。

多角的な視点から予算を見る

現在の業務内容

私が所属している経済産業第二係では、経済産業省が実施するエネルギー対策関係の予算を担当しており、その中でも私は石油や天然ガス等の資源・燃料に関する予算の編成業務を行っています。

予算編成においては、8月末に各省庁からの概算要求を受け、12月の政府予算案の閣議決定というゴールに向けて、相手省庁の担当者と議論を重ね、予算を査定していきます。査定にあたっては、単価の設定や数量は妥当かといったミクロな視点から、事業の内容や実施方法が、政策目的を達成するために適切なものとなっているのかといったマクロな視点まで、限られた予算で最大の効果が発揮されるよう、納税者たる国民の視点に立って、様々な角度から精査をしています。

業務の中心は予算編成業務ですが、予算編

成が終わってからも、予算に関する様々な資料の作成・確認や、予算の執行にあたり、各省大臣から財務大臣へ協議される事項の審査も行っており、その内容や計数の確認作業などを行っています。

現在の業務の魅力・やりがいについて

予算編成を担当する係では、私のような社会人になって間もない係員であっても各省庁が実施する事業の予算の担当者となり、予算の査定を行います。担当する事業の予算については、自身の仕事次第でその事業に充てられる予算額が決まるため、重責を感じることもありますが、予算編成を終えた際の達成感は、計り知れないものがあり、大きなやりがいを感じます。

また、自身の担当事業を一つとつても、予算編成は自分ひとりの力ではやり遂げることは



できません。編成にあたっては、政策の企画立案・実施等を行う各省庁の担当者や上司と議論を重ね、関係者が納得・合意できる予算を作り上げていくことになります。その議論を通じ、自身の担当事業はもちろんのこと、広くその分野に関する知識・知見を深めていくことができるのも大きな魅力です。予算編成を通じて得た経験は、予算編成のみならず、財務省内の他の業務にも活かしていくことができるものだと思うので、財務省へ入省されたら、是非一度、予算編成を経験してほしいと思います。

主計局経済産業第二係

清水 美帆 [令和3年入省]
SHIMIZU Miho



理財局

理財局農林水産・環境係長

小坂 菜乃花 [平成26年入省]
KOSAKA Nanoka



国民生活を支える財政投融资

現在の業務内容

私は現在、理財局農林水産・環境係に所属しており、財政投融资計画の編成業務を担当しています。財政投融资は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の方々への資金繰り支援や、空港や鉄道等のインフラ整備、学生への奨学金事業など、実は私たちの身近なところで活用されており、私は農林水産業の活性化やカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを担当しています。

予算には償還という考えはなく、使用時の効果を踏まえて、予め措置されるものですが、財政投融资は、「融資」や「投資」といった原資の回収を前提とした資金のため、融資した資金が確実に返済されるのか、投資による収益がどの程度見込まれるのか等、資金の特性を踏まえた観点から問題がないか審査を行います。

また、審査にあたっては対象事業のことをよく理解しておくことが重要であり、各省の担当者からそれぞれの政策方針や事業内容についてよく話を聞き、事業の目的達成のために財政

投融资をどのように活用していくことが効果的であるか等、様々な議論を重ねて財政投融资計画の編成を行います。

理財局のやりがい・魅力について

理財局は財政投融资のほか、国債や貨幣の発行、国有財産、たばこ・塩事業など多様な分野を担っており、様々な業務に携わることができます。

現在携わっている財政投融资の財源は、国債によって調達した資金や国有財産である政府保有株式の配当金等で賄われているなど、理財局内のそれぞれの業務には繋がりががあります。私も以前は、国債の入札手続きや証券会社へのヒアリング等を行っていましたがその知識や経験が財政投融资業務で活かせる場面もあり、今後新たな経験を積むことで、局内の業務全体において多角的な視点で判断ができるようになると思います。

また、財政投融资の令和5年度当初計画額は約16兆円であり、膨大な金額を扱うなど、国家公務員ならではのスケールの大きな仕事

を経験する機会もありやりがいを感じています。但し、日々の業務では、実際にそれらの資金がどのように国民の役に立っていくのかという視点も忘れないようにしています。

財務省の仕事の魅力について

財務省の仕事は、財政を通じて国のあらゆる政策へ影響しており、直接財政に携わる仕事がしたいと考えている方はもちろん、特定の分野に限らず国全体に貢献したいという方にも、やりがいを持って働ける職場だと思います。

私自身は学生時代に財政や経済などを専攻していませんでしたが、様々な業務を経験する度に新たな知識を習得することができ、財務省の業務の面白さを感じています。財務省は予算・税制・国債など様々な業務分野が集まる組織ですが、それぞれが相互に関連し合い、国の財政は回っているのだと実感しています。財務省の仕事に少しでも興味を持たれた方は、ぜひ一度足を運んでいただき、財務省の雰囲気を実際に感じてもらえたら嬉しいです。

理財局概要

●国庫・通貨

収入支出の調整(資金繰り)を行う等、国庫金の効率的・統一的な管理、運用を図っています。また、通貨に対する信頼維持のため、通貨制度の企画・立案、通貨の製造計画の策定、偽造対策等も行っています。

●財政投融资

税財源によらない国の投融资活動です。リスクが高く、民間では十分に対応できないものの、政策的必要性から資金供給を行うべき分野に対して、財投債の発行によって調達した資金等を財源として、長期・固定・低利の融資やリスクマネーの供給を行っています。

●国債管理

税収等で賄えない歳出需要を賄うため、国債の発行または借入により資金調達を行っています。確実かつ円滑な国債発行により、資金を確実に調達するとともに、中長期的な調達コストを抑制するため国債管理政策を企画・立案し、執行しています。

●国有財産

国有財産は、国が所有する土地や庁舎等の建物といった不動産、国が政策的な出資により取得した株式等、国民共有の資産です。こうした国有財産を適正に管理または処分し、財政に貢献するとともに、地域・社会のニーズに応じて有効に活用しています。

経済活動・国民生活の基盤となる通貨行政

現在の業務内容

通貨行政は、令和3年11月に新500円貨が発行され、令和6年上期には約20年ぶりに新日本銀行券(一万円札など)の発行が予定されており、今、大きな節目を迎えています。また、あまり知られてはいないかもしれませんが、国家的な記念行事の際には、「記念貨幣」というものが発行されており、最近では鉄道150周年記念貨幣や、沖縄復帰50周年記念貨幣が発行されています。

現在私が所属する理財局国庫課通貨企画調整室では、通貨の適正かつ円滑な供給・流通、また、最新の偽造防止策等による通貨の信頼性確保に向け、企画立案業務を行っています。例えば、新500円貨や新日本銀行券の発行に際しては、どのようなデザインにするの

か、どのような偽造防止技術を採用するか、といった事に関して、通貨の適正かつ安全な流通や通貨に対する信頼を維持するため、実際に通貨を製造する造幣局・国立印刷局と共に検討を行います。他にも、記念貨幣であればより良い記念貨幣となるよう、どのような記念行事を題材にするか、発行枚数は何枚にするのか、といった検討を行っています。このように日常生活を送るうえで欠かせない通貨に関して、世の中に出回る前の段階で、様々な議論や検討に携わることができるというのは、非常に貴重な経験です。

その中で、私は通貨調整係を担当しており、適切な通貨行政を行ううえでの前提となる造幣局・国立印刷局の組織・業務運営目標の策定や、業務実績の評価を担当しています。両法人は、通貨の製造等の経済活動・国民生活

の基盤となる業務を行っており、国と一体的に密接な連携を図りつつ業務を行う必要があるため、監督を行う財務省が両法人に年度目標を指示し、年度毎の業務実績を評価することとなっています。

通貨を取り巻く環境は、昨今のキャッシュレス決済の普及など社会の生活様式の変化に影響を受けており、両法人における毎年度の目標の策定や、業務実績の評価を実施する際にも、そのような環境の変化を反映した内容にアップデートしていく必要があり、両法人と日々議論を重ねています。

また、造幣局にて毎年開催されている貨幣大試験や、記念貨幣の製造を開始する際に行われる打ち初め式といった大規模なイベントへ参加ができるのも当室の魅力の一つです。

理財局国庫課通貨調整係

中島 悠人 [平成30年入省]
NAKAJIMA Yuto



国際局

国際局調査課為替実査室長

舟橋 聡 [平成4年入省]
FUNABASHI Satoshi

日本への貢献、 世界への貢献を考える

現在の業務内容

私は「外国為替検査」を実施する為替実査室に所属しています。最近、新聞等で「対ロシア経済制裁」という記事を見た方もいらっしゃると思いますが、日本は、北朝鮮やロシアなどに対し経済制裁を実施しており、その一環として指定された制裁対象者へ日本から海外送金をできないようにする資産凍結等措置などを実施しています。「外国為替検査」は、海外送金などを行っている金融機関がこうした資産凍結等措置を遵守しているかを検査し、我が国の経済制裁措置が確実に実施されているかを確認することが主な業務です。私の業務は、検査責任者として当室の検査官とともに金融機関に対する検査の実施や財務局に配置されている検査官(約50名)と連携して、全国規模でこの検査が実施できるよう調整などを行っています。

国際局の 魅力・やりがいについて

国際局の主な業務として外国為替市場の把握・分析や外貨準備の管理、外国為替及び外国貿易法(外為法)に基づく経済制裁などへの対応、開発途上国等に対する経済協力などがあります。いずれもグローバルな経済活動に直結した業務となっており、最近では「経済安全保障」という分野も国際局の一つの業務として注目されています。そのため、国際局の職員は、海外とのやりとりはもちろんのこと、多くの職員が留学も含め海外赴任などを経験しています。このように国際的な活動をする部局であることから、自身が行っている仕事日本のためだけではなく、世界のためにも何らかの貢献ができることが魅力の一つであり、そうした仕事に携われることにやりがいを感じています。

財務省を志望する方への メッセージ

財務省は、予算、税制、関税政策、国有財産管理、国際政策など幅広い業務を担っています。それぞれの業務について様々な課題があり、財務省は、こうした課題に向き合い、より良い社会となるよう解決に向けた努力を続けています。このような努力を続けていくためには、社会に貢献したいという気持ちが一番大事だと思っています。また、社会情勢の変化はスピードを増しており、こうした変化にも対応しながら課題を解決しなければなりません。それには、常識にとらわれない発想なども求められていると思います。

是非、一人でも多くの方に財務省の扉を叩いていただき、財務省職員として希望ある社会の実現を目指して共に働くことを楽しみにしています。

国際局 概要

●国際通貨政策

外国為替市場、内外資金フローの把握・分析や外貨準備の管理等により外国為替制度の運営に当たっているほか、G7、G20、国際通貨基金(IMF)関連の各種国際会議を通じて、国際金融システムの安定に向けた制度強化に関する国際的な取り組みに参画しています。このほか、テロ資金供与対策や大量破壊兵器の拡散防止策など、国際金融システムの濫用の防止に取り組んでいます。また、アジア地域における通貨危機の予防・対処のため、チェンマイ・イニシアティブやアジア債券市場イニシアティブ等の取り組みを通じて、アジア地域内における地域金融協力に取り組んでいます。

●開発援助政策

政府開発援助(ODA)の効率的・戦略的な活用、具体的には、円借款や国際協力銀行を通じた二国間支援に関する政策の策定、世界銀行をはじめとする国際開発金融機関(MDBs)を通じた多国間支援を行っています。また、それら支援の実施に関連し、地球環境問題や途上国債務問題への対応を行い、開発途上国の経済・社会の安定的な発展を実現するための国際協力を推進しています。

透明性と公平性を確保し、 債権保全と債務国の経済再生の両立を目指す

現在の業務内容

開発政策課では、開発途上国における開発に関する業務(インフラ・債務問題・国際保健・環境問題等)や財務省が所管しているODA予算(経済協力費)の編成等、開発援助政策に係る幅広い分野を所掌しています。その中でも私の所属する調整係では、特に開発途上国の債務問題を扱っています。近年では、新型コロナウイルス感染症の拡大やロシアによるウクライナ侵略等の不安定な世界情勢により、途上国、とりわけ低所得国や一部の脆弱な中所得国において、各国が抱える債務を返済できない危険性(債務リスク)が高まっています。

このような状況を受け、私たち調整係は、パリクラブと呼ばれる主要な債権国と債務国が二国間のリスケジュール(返済の繰り延べ)協議

等を行う非公式会合の枠組みにおいて、日本政府側の担当者となっており、債務リスクの高い国々の経済状況の確認や、債務不履行に陥った国の債務再編(返済の猶予などの救済措置)に携わることで、日本の対外債権の保全及び日本政府における債務国の経済再生に向けた政策の一部を担っています。

現在の業務の魅力・ やりがいについて

債務再編へのプロセスは複雑で、なかなか実を結びにくい業務ではありますが、一歩ずつ前進していると感じることができた時は非常にやりがいを感じます。一国の債務再編に至るまでには、パリクラブでの多国間協議、IMF等の国際金融機関や主要債権国との一対一での面会等、交渉の膨大な積み重ねが必要

です。現在、日本が主導するスリランカの債務再編は、中所得国の債務再編において、パリクラブのメンバーではない債権を有する新興国を巻き込み、債権国会合を発足した初のケースであり、歴史的快挙となりました。

債権国会合は、債務再編の詳細な内容について議論を行う場であり、債務再編に向けたスタート地点によりやく到達した段階に過ぎません。しかし、主要な債権国やIMF等と幾度となく行われた面会や、公表文書にかかる細かい文言の調整といった苦勞を乗り越え、担当者としてスリランカの経済再生のための貴重な本会合に立ち会えたことは、非常に感慨深く、ここまでやってきて良かったと思える達成感ややりがいを感じることができました。

国際局開発政策課調整係

上坂 美香 [令和3年入省]
KAMISAKA Mika



大臣官房

大臣官房文書課国会係

金川 美咲 [令和元年入省]
KANEGAWA Misaki



立法府と行政府の橋渡しとして働く

現在の業務内容

私が所属する大臣官房文書課は、財務省全体の文書管理から国会対応、機構・定員管理、広報、サイバーセキュリティといった幅広い業務を担当しています。その中で私は、日本の政治の中核である永田町にある、国会議事堂内の「国会連絡室」で勤務しています。「国会連絡室」は、立法府(国会)と行政府(各省庁)の連絡調整に関する仕事を行っているた



め、国会議事堂内に事務室(勤務場所)があるという少し特殊な部署だと思っています。

具体的に、現在の主な業務は、国会の運営状況に関する情報の収集とそれらの情報の財務省への展開、予算案や財務省が提出する法律案の政党内手続きのための連絡調整などです。他省庁も同じように国会議事堂内に事務室を設けており、他省庁の同世代の職員と幅広い人脈が作れることが特徴です。

現在の業務の魅力・やりがいについて

国会連絡室は足で情報を稼ぐことがメインの仕事なので、日中は議事堂内を歩き回って、財務省に伝える情報を収集しています。議員会館や政党本部にも足を運ぶことが多いですが、どこに行っても「財務省の看板を背負っている」ことを常に意識しています。時には大臣の日程

等を大きく左右する情報もあり、責任が大きい業務ですが、日本の政治が動く瞬間や、ニュースで大きく取り上げられるような出来事を目の当たりにすることが多々あり、とても刺激的な環境で働いています。

また、国会開会中は、それぞれメディアが取り上げるような、いわゆる「目玉法案」が提出されることがあり、その法案の成立過程において、与野党の緊迫した審議に立ち会えることもあります。

日本の政治について、日常の中で意識する機会はそのままで多くはないかもしれませんが、決して「テレビの向こう側」の世界ではありません。日本の行く末を左右する意思決定と歴史が、今この瞬間に作られていて、その現場に財務省職員として立ち会えることに誇りを持って働いています。

大臣官房概要

大臣官房は、財務省の内部管理と行政事務の総合調整役を担っており、希望ある社会の実現に向け、各局で活躍する職員を支える縁の下のような存在です。具体的には以下のような業務を行っています。

- 秘書課: 職員の人事、給与、服務等
- 文書課: 内部部局間の調整、広報、行政文書の管理、情報システム関連業務等
- 会計課: 財務省の予算、庁舎管理、契約業務等

- 地方課: 財務局との連絡・調整等
- 総合政策課: 経済情勢の調査・分析等
- 政策金融課: 政府系金融機関の監督等
- 信用機構課: 預金保険機構の監督等

関税局

関税局関税課法規係

西山 直希 [令和元年入省]
NISHIYAMA Naoki



関税政策を通じて国民生活を考える

現在の業務内容

関税局関税課では、輸出入の際に課せられる関税の改正業務を主に行っています。関税の改正にあたっては、各省庁から関税の改正に係る要望を受け、その内容についてヒアリング等を行い、改正の是非等を検討します。そして、

関税・外国為替等審議会の「関税分科会」における外部有識者による審議や税制改正大綱を踏まえ、改正案を作成し、国会で審議・可決されることで関税が改正されます。私はこのプロセスにおいて、改正の是非等の検討やその検討に必要な資料の作成、各省庁との調整等に係る業務を行っています。

また、WTO協定において、国内産業の保護のため、一部の農産品は輸入数量が一定の水準を超えた場合等に関税率を引き上げることができる権利(特別緊急関税制度)が認められており、その制度を適切に運用するために、一部の農産品に係る輸入数量の集計及び公表などを行っています。

現在の業務の魅力・やりがいについて

現在、日本は様々な国々と幅広い経済関係の強化を目指して、貿易や投資の自由化・円滑化を進める協定を結んでいます。その協定の内容を日本で適切に実施していくためには行政として、国内の関係する法令を整備する必要があります。

私は農産品に係る関税を担当しており、直近の国際交渉の結果を踏まえ、日々どのように法令整備を行えば、協定の内容を担保できるのか検討をしています。その検討過程においては、他の協定や法令等を参照することも多く、行政で働くうえで視野が広がったと実感しています。また、関税は、外国との貿易において重要なツールであり、我々の生活とは切り離せないものです。そんな関税に携われる関税局の業務にとってもやりがいを感じています。

関税局概要

税関は、我が国の経済・社会秩序を維持するため、覚醒剤等の不正薬物や銃砲、知的財産侵害物品等の密輸入取締り、輸出入貨物の通関、関税や消費税等の徴収等を行う行政機関です。関税局は、この税関の司令塔としての機能を有する組織であり、税関行政に関する様々な政策や制度の企画・立案等を担当しています。具体的には、不正薬物や銃砲、知的財産侵害物品等の取締方針や制度の策定、警察等の関係機関や関係業界との連携、IT化の推進等を行っています。また、関税局は税関・通商分野での国際交渉や国際協力を担う機能も有しています。例えば、世界各国との経済

連携協定交渉を始め、WTO(世界貿易機関)やWCO(世界税関機構)等における国際ルール作りへの貢献、外国税関との連携強化を目的とした相互支援協定の締結、途上国税関に対する制度・人材育成の支援等、国際貿易の促進や日系企業の海外進出を後押ししています。さらに、関税局・税関では貿易統計を発表しており、我が国の重要な経済指標の一つとして国内外で活用されています。このように、関税局は国民生活に直結する政策に従事するとともに、執行機関である税関との関わりが深い組織であることが特徴として挙げられます。

主税局



私たちの生活には、外交や国防はもとより、公共サービスの提供、公債の返還まで様々な経費がかかりますが、このような経費を支出するためには、租税収入が不可欠です。主税局では、こうした私たちの生活に不可欠な租税に関し、所得税、法人税、消費税等の各税目の企画・立案に加え、租税収入の見積もり、税務手続きに関する制度や外国との租税に関する協定の企画・立案業務を担っています。特に、例年、秋から冬にかけては、常に変化する経済社会や国際情勢を踏まえて、どのような見直しが必要であるか、集中的に検討を行い、翌年の通常国会での税制改正法案の成立を目指します。

主税局として近年取り組んでいる課題は、働き方の多様化の進展等に対応した所得税の見直し、経済のグローバル化やデジタル化等に伴う国際課税のルールの見直し等、多岐にわたっています。

先輩職員のこれまでの歩み

平成12年
入省

主計局総務課主計事務管理室
主任主計事務専門官

白石 大祐
SHIRAISHI Daisuke

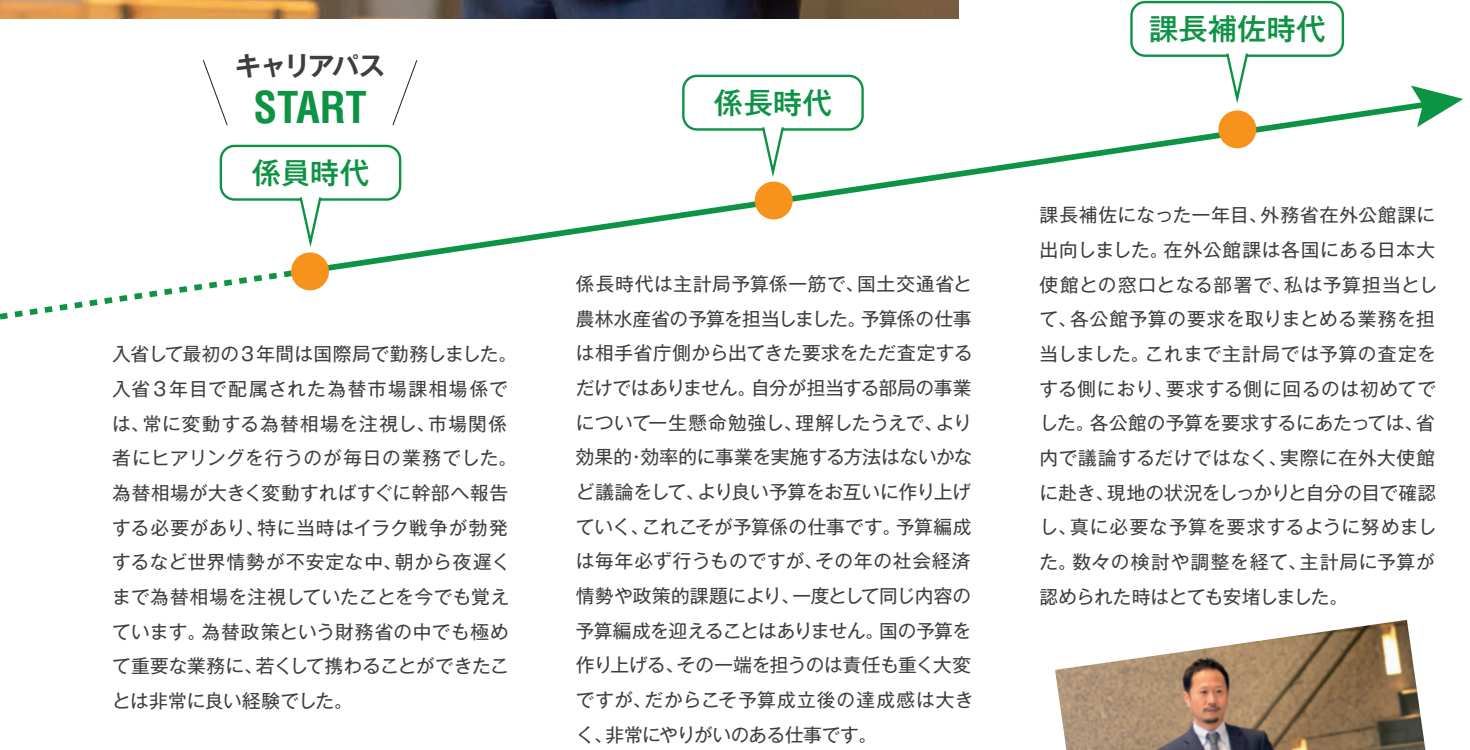
平成 12 年 5 月 国際局 開発金融課
平成 14 年 7 月 国際局 為替市場課
平成 15 年 7 月 主計局 司計課
平成 17 年 7 月 関東財務局へ出向
平成 19 年 7 月 主計局 国土交通第二係
平成 20 年 7 月 主計局 国土交通第二係長
平成 22 年 7 月 主計局 農林水産第二係長
平成 24 年 7 月 主計局 国土交通第一係長
平成 26 年 7 月 主計局 公共事業総括第一係長
平成 28 年 7 月 外務省へ出向
平成 30 年 7 月 国立研究開発法人
日本医療研究開発機構へ出向
令和 3 年 7 月 主計局 主計官補佐
(公共事業総括第一係)
令和 4 年 7 月 主計局 総務課 主計事務管理室
主任主計事務専門官
(内閣府経済対策世帯給付金等
事業担当室にて勤務)

現在の業務内容について

現在、私は主計局主計事務管理室に所属していますが、内閣府において行われている低所得世帯等に対する給付金の支給事務も兼ねて担当していることから、主に内閣府にて勤務しています。これまでの主計局での経験を活かして、給付金予算の執行管理などを担当し、給付金の迅速な支給に取り組んでいます。このように国の大きな施策に直接携われるというのはとても貴重な経験です。

財務省本省一般職の
キャリアパスの魅力について

財務省の各部署の業務範囲はとても広く、多くの省庁とも関係しています。主計局で言えば、予算編成という業務を通じて、担当する省庁の各施策について一緒に議論して予算を作っていくため、主計局にいてだけで、様々な分野の知識を得たり、経験をすることができます。また、出向先も多く、係員から係長、課長補佐と様々な業務を経験していく中で、財務局等の地方出先機関、他省庁、独立行政法人や地方自治体への出向、海外赴任などを経験することができることも魅力の一つです。財政を通じ、多種多様な業務を経験できるのは財務省ならではの魅力であり、随所でスキルアップできる環境が財務省には整っています。



平成29年
入省

理財局国庫課デジタル通貨係

佐竹 千尋
SATAKE Chihiro

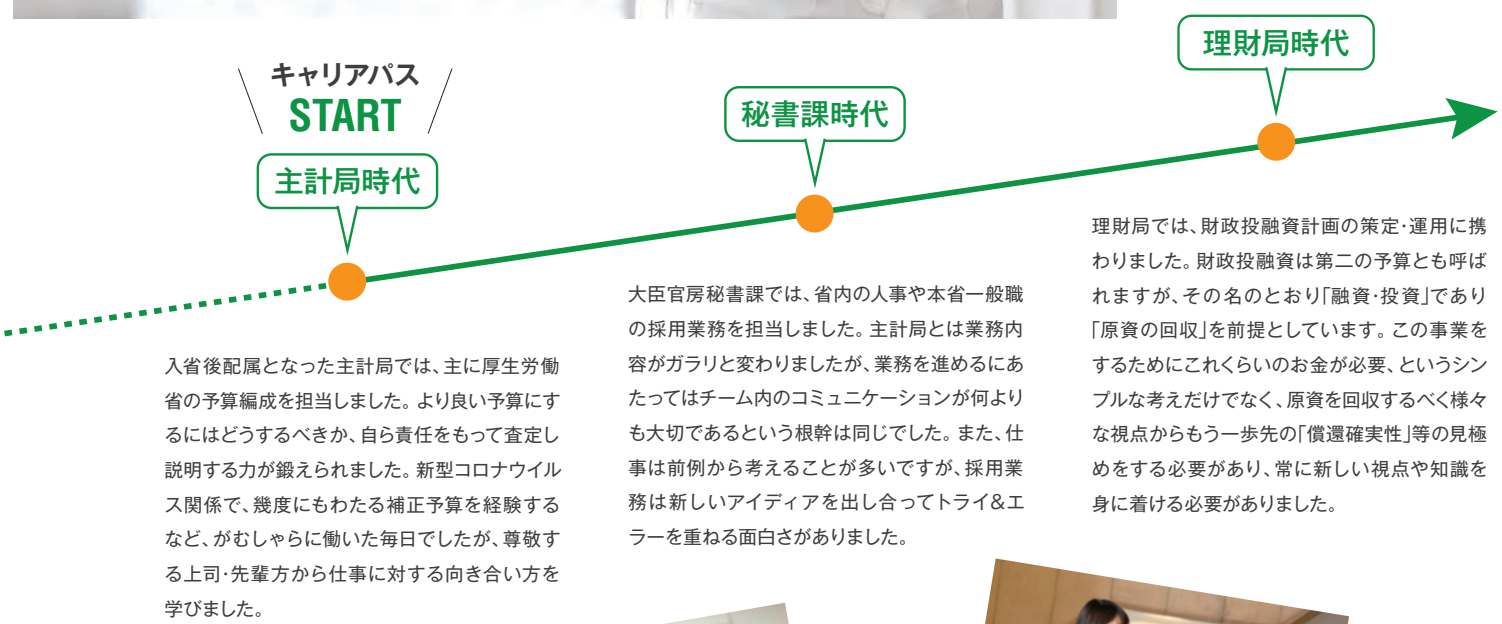
平成 29 年 5 月 主計局 総務課
平成 30 年 7 月 主計局 厚生労働総括係
令和 元 年 7 月 主計局 厚生労働第六係
令和 2 年 7 月 大臣官房 秘書課
令和 3 年 7 月 理財局 経済産業第二係
令和 4 年 7 月 理財局 国庫課

現在の業務内容について

通貨制度を所掌する理財局国庫課で、中央銀行デジタル通貨(CBDC)の在り方を検討しています。現時点で、日本を含む主要国においてその発行は決定されていませんが、世界各国で議論されており、我が国としても社会・経済のデジタル化の流れの中で検討すべきものとして、日々、情報の収集などを行っています。

財務省本省一般職の
キャリアパスの魅力について

私の経歴からお分かりいただけるとおり、国の金庫番である財務省の所掌は広範です。就職活動をしていた当時、長い人生の多くの時間を費やす仕事の分野を今決めてしまうのは惜しい、色々なことに挑戦したい、という気持ちから財務省の門を叩きましたが、その決断に誤りはありませんでした。無限のチャレンジが広がる財務省で、ぜひ一緒に働いてみませんか。



A woman with long dark hair, wearing a dark blazer over a light-colored top, is smiling. She is standing in front of a wall covered with numerous national flags. To her right, a large wall features the text "OUR DREAM IS A WORLD FREE OF POVERTY" in a stylized font. A small potted plant is visible in the bottom right corner.

国際復興開発銀行 日本理事室

細田 亜樹 [平成30年入省]
HOSODA Aki



主計局公共事業総括第一係

畠山 敦 [令和3年入省]
HATAKEYAMA Atsushi

出向者からのメッセージ

財務省入省後は、財務省本省にとどまらず、関係府省庁、政府系金融機関、独立行政法人、地方支分部局(財務局・税関)等に
出向する機会もあります。ここでは、現在、出向している職員から、出向によって得られた経験等について、紹介します。

欧州復興開発銀行日本理事室理事補

塩崎 寛子

SHIOZAKI Hiroko

平成 23 年 5 月 国際局 地域協力課

平成 25 年 7 月 国際局 開発機関課

平成 26 年 6 月 米州開発銀行 (ワシントンD.C.)へ出向

平成 28 年 7 月 国際局 為替市場課

平成 29 年 7 月 大臣官房 文書課

平成 30 年 7 月 国際局 開発政策課

環境調整第一係長

令和 元 年 7 月 国際局 調査課

外国為替資金調査係長

令和 3 年 8 月 英・サセックス大学へ留学

令和 4 年 6 月 欧州復興開発銀行 (ロンドン)へ出向



現在の業務内容

現在、私は英国ロンドンに所在する欧州復興開発銀行(EBRD)の日本理事室で勤務しています。EBRDとは、中東欧諸国における市場指向型経済への移行及び企業家の自発的活動を進めるために設立された国際機関です。

私が所属している日本理事室の役割は、EBRDの理事会で行われる政策に関する議論について、EBRDの主要出資国の一つである日本の代表として意見を発出し、意思決定をすることです。理事会での対処方針を策定するうえではEBRDの提案や意図を十分に理解し、過去の経緯をよく把握したうえで、EBRDの職員や他国の理事室職員

環境省環境再生・資源循環局
廃棄物適正処理推進課
課長補佐

門倉 大輔

KADOKURA Daisuke

平成 10 年 5 月 理財局 資金第一課

平成 12 年 7 月 理財局 総務課

平成 13 年 4 月 理財局 国債課

平成 13 年 7 月 主計局 法規課

平成 15 年 7 月 福岡財務支局へ出向

平成 17 年 7 月 主計局 経済産業第三係

平成 18 年 7 月 主計局 法規課 法規第七係長

平成 19 年 7 月 主計局 農林水産第二係長

平成 22 年 7 月 主計局 文部科学第三係長

平成 23 年 7 月 主計局 法規課 法規第三係長

平成 24 年 7 月 主計局 法規課 法規第一係長

平成 26 年 7 月 外務省へ出向

平成 28 年 7 月 内閣官房 行政改革推進本部事務局

平成 30 年 7 月 主計局 主計官補佐(農林水産第一係)

令和 元 年 7 月 主計局 法規課 課長補佐

令和 3 年 7 月 環境省へ出向



現在の業務内容

私は現在、環境省で、地方自治体がごみの処理施設の整備や災害で発生した廃棄物(浸水で使えなくなった量など)の処理を行う際の財政支援策に関する業務を行っています。具体的には、支援に必要な予算確保に向けた財務省との折衝、予算の交付先の決定(予算執行)、地方自治体の意見などを踏まえた制度の見直しの検討などの業務を担当しています。

私はこれまで、「廃棄物(ごみ)」に関する業務を担当したことも、また実生活においてもごみ処理や災害で困った経験もなかったので、廃棄物に関する知識が全くない状態で環境省に赴任しました。そのため、出向直後は基礎的な知識の不足を痛感する場面も多々ありましたが、幸いにも、課内

と綿密に議論を重ね、財務省とも相談し最終的に日本の立場を決定することになります。

出向によって得られた経験や
印象に残っている業務

EBRDは、その設立以降、中東欧諸国の開発や復興に重要な役割を果たしてきましたが、令和4年2月のロシアによるウクライナへの軍事行動の開始以降は、特にウクライナ及びその周辺国への支援におけるEBRDの役割はより大きなものとなっています。

また、EBRD本部が所在する英国も歴史的な物価高に見舞われており、私が担当する予算委員会でも、EBRDのリソースに限られる中、職員の給与についてどのくらい改定できるのか、といったことが大きな議論となるなど、現下の世界情勢の変化を実感しています。このように今までの考え方が通用しない場面も多く遭遇しますが、自身が業務をするにあたっては、多くの同僚と議論をしながら常に問題の本質であるポイントを見極めるようにすることで、EBRDの政策が日本、ひいては加盟国全体にとって有益なものとなるよう努めています。

現在の業務内容

私は現在、経済産業省所管の独立行政法人である中小企業基盤整備機構に出向しています。当機構は、中小企業などの事業者の事業活動に必要な研修の実施、資金の貸付けや出資、地域におけるアーケード街などの施設の整備等を通じ、それぞれの事業活動の活性化に向けた基盤整備を行っています。私の所属する財務部では、機構の数兆円に及ぶ現預金等の支出と収入の管理を行っている他、年間計画に基づき、財投機関債等の有価証券による資金運用を行っています。

出向によって得られた経験や 新たな業務へ向かい合う充実感

現在の出向先では、これまで財務省で一番長く携わってきた国債関係業務の経験が活かされています。中小企業基盤整備機構の資金運用の業務を行う中で、証券会社等から情報収集することがありますが、飛び交う用語やマーケットの商慣習の知識など、日頃聞き慣れないことに対しても出向初日から対応できたことは財務省での様々な

(独)中小企業基盤整備機構財務部
資金課長

洲崎 一啓

SUZAKI Kazuhiro

平成 12 年 5 月 理財局 国債課

平成 15 年 7 月 主計局 給与共済課

平成 17 年 7 月 関東財務局へ出向

平成 19 年 7 月 理財局 国債業務課

借入金係長 兼 債務調整係長

平成 21 年 8 月 理財局 国有財産企画課

調整第一係長

平成 22 年 7 月 理財局 国有財産企画課

政府出資室法人第一係長

平成 23 年 7 月 大臣官房 秘書課 副大臣付主任

平成 25 年 7 月 理財局 国債業務課 政府保証係長

平成 27 年 7 月 理財局 総務課 文書係長

平成 28 年 7 月 理財局 国債業務課 課長補佐

平成 29 年 7 月 理財局 総務課 課長補佐

令和 元 年 7 月 理財局 管理課 財政投融资実施監査官

令和 3 年 7 月 (独)日本学生支援機構へ出向

令和 4 年 7 月 (独)中小企業基盤整備機構へ出向



現在の業務内容

経験が礎となっています。今は資金運用を行う投資家という立場で業務の一部を行っています。直前の出向先である日本学生支援機構では真逆の立場である債券の発行体としての経験や、その際の出会いも現在の業務に大変役に立っており、一つひとつの業務や経験の積み重ねが困難な場面に直面した際に必ず役に立つものと感じまし

た。また、出向先では課長というポジションについており、自身で判断できる裁量が増えたことによって新しいことにチャレンジすることの面白さを実感し、入省後20数年経った今でも充実した日々を送ることができています。



現在の業務内容

近畿財務局管内にある地域金融機関(信用金庫)の監督が私の仕事です。地域金融機関は地域社会に寄り添い、そこに住む人々やそこで事業を展開する方々への支援等を通じて地域全体を支える重要な存在です。財務局はこうした地域金融機関に対して、ヒアリング等の機会を通じて財務の健全性やリスク管理の状況を定期的にチェックし、「金融システムの安定の確保」、「金融サービス利用者の保護」を図っていくといった役割を担っています。地域金融機関の監督を通じて地域の人々の暮らしや社会に貢献できることは大きなやりがいとなっています。

出向によって得られた経験や 印象に残っている業務

財務局の大切な使命である「地域社会への貢献」に向けて、近畿財務局では若手・中堅職員でチームを作り地域課題の解決をサポートする取り組みを行っています。課題の抽出、対策の検討、実行まで、自らの手で解決策を創り上げていく過程は、財務省本省での政策立案業

務と共通するものがあり、また国と地域というフィールドの違いはあるものの、より良い社会を作りたいという熱意も財務省本省と財務局で変わらないと感じます。財務局で行政の受け手である国民の皆様を常に身近に感じ

つつ仕事をする中で、行政の目指すべき姿がどのようなものか自分の中でより鮮明なものとなりました。今後の業務のみならず、その先にある希望ある社会づくりに活かしていきたいと思っています。

近畿財務局理財部金融監督第二課

莉住 朋子

KARIZUMI Tomoko

平成 28 年 5 月 理財局 国庫課

平成 29 年 7 月 理財局 管理課

平成 30 年 7 月 理財局 財政投融资総括課

令和 元 年 7 月 大臣官房 秘書課

令和 3 年 7 月 近畿財務局へ出向





19 第2部 財務省のキャリアパスと制度

20



メンター

主計局復興係

新井 大基 [令和3年入省]
ARAI Hiroki

メンティー

主計局司計課
予算執行調査第2係

多田 侑真 [令和4年入省]
TADA Yuma

メンター制度を経験して

新井:私が入省一年目の頃に当時のメンターがしてくれたように、定期的にランチに誘うなどして多田君(メンティー)が相談しやすい環境作りをするよう心がけています。多田君はメンター制度についてどう思う?

多田:社会人1年目で右も左も分からない私にとって、メンター制度はとてもありがたい制度でした。新井さんがメンターだったからこの1年間は不安なく仕事をすることができたと言っても過言ではありません。業務の相談はもちろんのこと、ランチに誘っていただいた際には、趣味の話をして盛り上がりましたよね!仕事面のみならず、様々な面で支えてくださった新井さんがいたおかげで仕事に行くのが楽しくなりましたし、メンター制度があるのと無いのでは、1年目にとっては大きな違いだと感じました。新井さんがいたのはとても心強かったです。



新井:そんなこともあったね。(笑)多田君にそう言ってもらえて嬉しいな。多田君は以前同じ課

で働いていた時から、分からないことを素直に聞いてくれたから、どのように説明すればより分かりやすいかなどを色々考えるようになり、自分自身も勉強させてもらっていたよ。それに、多田君がどうしたら職場に早く馴染めるか考える中で、人と関係を築くためには業務外の時間も大切であるという学びを得ることができ成長させてもらえたと実感しているよ。メンター制度は1年生のためだけにあるものではなくて、メンター(自分自身)の成長のためのものでもあるんだね。今後も、メンターとしての経験を活かして後輩職員から頼ってもらえる先輩になれるよう業務時間中はもちろんのこと、業務時間外での会話などを通じて今よりも後輩職員に寄り添っていける先輩になりたいな。

多田:私も先輩職員になるので、これから甘えさせてもらいながらも、新井さんのように、後輩のことを気かけられるような余裕を持った職員になれるよう日々頑張りたいと思います!

財務省を志望する方へのメッセージ

新井:現在私が所属している主計局という部局は、国の予算や決算に関する業務を行っており、とても責任のある仕事をしています。しかし、その分得られる達成感や、やりがいはい大きく、政府予算案の閣議決定を迎えた日は、この上ない喜びを得たことを鮮明に覚えています。そして何より、私も1年目にメンター制度があったことで、

身近にかつ気軽に相談できる先輩が沢山できました。そのおかげで多忙な予算編成期を乗り切ることができたと思っています。このような経験ができるのは財務省ならではのと思います。そんな財務省で、ぜひ一緒に働きましょう!



多田:メンター制度があったおかげで、社会人1年目を不安なく乗り越えられましたし、他の先輩との繋がりも増えました。これから社会人になる皆さんは、(私がそうだったように)不安だらけだと思いますが、面倒を見てくれる優しくて頼りになる先輩方が沢山いますので、是非一度財務省の説明会に参加してみてください。そして、財務省の雰囲気を肌で感じてみてください。財務省でお待ちしております!



理財局
国債企画課国債総括係長

天谷 季子 [平成21年入省]
AMAYA Tokiko

私は平成21年に入省し、理財局、主計局、秘書課、大阪税関での勤務を経験し、令和2年8月に双子を出産、育児休業を約1年6か月取得しました。令和4年5月に職場復帰し、現在は、個人向け国債の広報活動や課の窓口業務を行っています。

妊娠中の働き方について

妊娠をした当時、上司に報告した際には、体調を気遣っていただきフレックスタイム制による時差出勤や、テレワークの利用を勧められました。また、健診のために頻繁に休暇取得する必要がありましたが、職場ではもともと休暇取得を促進していたこともあり、快く認めてもらえました。

当時、新型コロナウイルス感染拡大の影響で業



務が忙しくなりましたが、上司を始めとした職場の十分なサポートがあり、テレワークでも円滑に業務を行うことができ、安心して日常生活と業務を両立することができました。

職場復帰後の働き方について

復帰後は、フレックスタイム制と昼休みの時間を短縮する制度を利用し、勤務時間の長さはフルタイムですが、通常の場合の退庁時間より早く退庁しています(具体的には8:00~16:30の勤務)。復職後一番大変だったのは、子供たちの体調不良で出勤できないことが想像以上に多いことでしたが、上司や同僚は私の家庭の状況をよく理解してくれており、テレワークの利活用や子の看護のための休暇も取得できています。

妊娠・出産前は、プライベートより仕事優先、夜中まで資料作りに追われることもあり、時には徹夜明けで係のメンバーと打ち上げに行くのが大好きでしたが、今は、家庭やプライベートの時間を大切にしながらも責任ある仕事を任せてもらっており、職場の周りの方たちのサポートに感謝しています。



今後について

ワークライフバランスとは、育児をしている女性に限ったことではありません。ここ数年で男性職員も、子供が生まれると育休を取ることが当たり前になってきています。また、私が在籍している課では、家庭の事情とは関係なく、業務の状況に合わせてテレワークを利活用したり、自分で設定した勤務時間で勤務している職員が多くいます。

今は周りの方に支えてもらって仕事と育児の両立ができていますが、子供の手が離れたときは、若い職員が制度を利用する際に最大限のサポートをしたい、と考えています。

育児休業

子どもが3歳に達するまでの間、その子を養育するために一定期間認められる休業

子の看護のための休暇

子どもが小学校に入学するまでの間に、その子を養育する職員がその子の看護をするために与えられる休暇

休憩時間の短縮

妊娠中・子どもが小学校に入学するまでの間や小学生の子どもの送り迎え・家族の介護をする場合、休憩時間を短縮することを認める制度

フレックスタイム制

職員が自身の勤務時間を割り振ることができる制度

係員の
一日

現在の業務内容

私が現在所属している総合政策課は、国内外の経済情勢を調査・分析し、各経済政策が適切に機能していくために必要な政策調整や、予算や税制などの政策立案の基となる情報の発信を行っています。その中でも私が配属された調査第一係は、特に日本経済について調査・分析を行う係で、各政策や国際的な動きが日本経済にどのような影響を与えるのかについて、情報収集・分析を行っています。財務省の中にそのような業務があるとはイメージし難いかと思いますが、財務省で業務を行っていくうえで必要となる経済の知識を習得することができ、また自分が作成した資料等が評価された時には達成感があり、日々やりがいを感じながら業務を行っています。

休日の過ごし方

休日には、友人と旅行に行ったり、ショッピングをしたり、自宅でゲームをして楽しんでいます。平日に消化しきれていない家事や掃除もしています。1週間のうちで自分の時間として、しっかりとリフレッシュできる貴重な時なので、自分のやりたいことをして楽しんでいます。



大臣官房
総合政策課調査第一係
林 風子 [令和3年入省]
HAYASHI Fuku

START	
9:00 出勤時	少し早めに登庁し、メールのチェックをすることから1日が始まります。前日の退庁後に作業の依頼等があった場合には、まず優先的に対応するようにしています。メールチェックや作業の対応が終わったら、新聞記事や国内外のマーケット状況、その日に公表された経済指標の数値を確認します。国内外の経済状況を把握することはその日の業務を円滑に進めるために必要であり、また自分の業務と深く関連のある話題については、上司と議論を行い、知識を深めることができるアットホームな雰囲気総合政策課の特徴です。
10:00 午 前	午前中は、財務省内で開催される会議の企画を行います。有意義な会議となるように、その時点の経済情勢を踏まえ、会議のテーマの設定や説明内容の調整をします。近年は、オンラインで行う会議が多いため、会議が円滑に進むよう事前に会議環境を整えておくことも重要です。会議当日には会議の進行役の他、予定内容が終了時間内に終わるよう、タイムキーパーの役割を担当しています。
12:00 昼 食	ランチは、財務省内にある食堂に行く人、お弁当を持ってくる人、コンビニで購入する人など様々です。私は、民間企業から財務省に出向で来ている同僚や先輩に、省外へランチに連れて行ってもらっています。財務省がある虎ノ門周辺はおいしいレストランも多く、お店も選べて気分転換になります。業務の相談からプライベートな話まで、コミュニケーションをとることができる重要な時間です。
14:00 午 後	この日は、担当している経済指標「日銀短観(日本銀行が実施する全国企業短期経済観測調査)」について、幹部への説明資料を作成します。誰が見ても重要な点が分かりやすく、内容を理解しやすい資料の作成を心がけて、データをグラフ等に加工し、色や配置、文字の大きさ等を決めていきます。説明の際には、内容や現在の経済状況をよく理解し分析できていないと、質問に答えられないこともあるので、事前に入念な準備をしています。
18:15 退庁前	退庁前には、メールを確認して、やり残している業務や翌日のスケジュールを確認します。本日中に対応すべき業務がある場合には、それらに確実に対応してから退庁します。最後にメールやスケジュールを確認することで、期限が定められている仕事を見落とすこともなく、翌日の業務内容も整理することができます。スケジュールはメールソフトのカレンダー機能、現在対応している業務の整理はリマインダーアプリを活用して、効率的に業務の計画を立てています。

係員の
一週間

現在の業務内容

私が所属する主計局司計課では、主に国の決算や予算執行に関する業務を行っています。具体的には、一般会計年度における国の収入と予算の執行実績を示す決算書の作成、各省庁がどの時期にいくら予算を使用するかを示す支払計画の承認、翌年度への予算の繰越の承認等を行っています。また、国会関係の業務も担当しており、司計課の業務内容は多岐にわたります。決算というと、単に予算の支出の結果に過ぎないと思われがちですが、今後の財政政策を行うにあたっての重要なデータとなるため、1円たりとも誤りが無いように注意をしながら業務にあたっています。

休日の過ごし方

繁忙期の平日は余暇があまりとれないときも多いため、休日は気分転換をする貴重な時間です。カフェ巡りや居酒屋巡りをしたり、都心に出かけて買い物をしたりして、リフレッシュをしています。また、少しずつ旅行をする機会も増えてきており、最近行った京都では、寺社仏閣を巡りながら御朱印集めをしたり、京都の街並み散策を楽しんだり、京料理を堪能しました。数年ぶりに訪れた京都でしたが、日本の古き良き文化を間近に感じることができ、いい気分転換になりました。



主計局司計課司計第二係
木村 聖哲 [平成30年入省]
KIMURA Toshiaki

START	
月曜日	担当省庁の予算について、ひと月分の支出許容額を決める支払計画の申請が届いたため、その確認を行います。この時期に支出を必要とする理由の確認や、予め担当省庁が作成した支出予定額以上の金額を支出しようとしている場合には、予定額作成時に何故その支出を見込むことができなかったのか、理由を確認します。その後は、担当として問題がないと判断し、上司の了解を得て承認を行うことになります。また、今週の金曜日には予算執行に関する調査のための出張があるため、事前に資料に目を通しておき、疑問点などをメモしておきます。
火曜日	担当省庁から、予算の繰越についての申請資料が送られてきたため、その内容について確認し、疑問点が解消されるまで担当省庁へ質問します。今回は、繰り越さなければならない理由や、その繰越金を使用するための事業スケジュールについて疑問点があったことから、その内容を担当省庁に伝え修正してもらうこととなりました。その後、修正されたものを確認し、要点を押さえたうえで上司に説明し、追加で確認すべき点があったため、その内容を担当省庁へ確認しました。
水曜日	決算書の参考資料として作成する「決算の説明」について、担当省庁と文言の調整や金額の確認作業を行います。作成にあたり決められたルールに則った記載となっているか、また、過年度の記載と比較した際に、明らかな体裁の誤りがないか等を確認していきます。確認してみると、ルールどおりに記載されていない箇所があったため、担当省庁に連絡し修正を依頼しました。また、昨日確認を依頼した作業に対する回答が担当省庁から届いたため上司に説明し、了解を得られたので申請を承認しました。
木曜日	担当省庁から概算払についての申請資料が送られてきたため、その内容について確認します。国の予算の支払いは、事業等が終わった後に実際にかかった金額について精算するのが原則ですが、国費で事業を行う事業者の中には、十分な資金がない者もあり、事業完了後の精算では事業を円滑に遂行できない場合があります。そのため、一定程度の金額を予め事業者支払い、事業の円滑な遂行に努めてもらうのが概算払制度です。この概算払の申請について、なぜ概算払が必要なのか、支払う金額は妥当か、支払う時期は適切か等を確認します。
金曜日	書類審査だけでは分からない予算執行現場の状況等を調査するため出張に向かいました。目的地に向かう新幹線の中においても、到着後スムーズに調査を行うことができるよう、資料やスケジュールの再確認を行うことを心がけています。審査する案件が膨大であるため、全ての現場を調査することは難しく、時には担当省庁から送られてきた書類等の確認で繰越審査を行っておりますが、こうして実際の事業実施現場や事業実施箇所の状況を自分の目で見ることは新たな発見を生み、日々の業務の理解を深めることにも繋がります。

若手職員座談会

主計局・理財局・国際局で働く入省2～6年目職員に現在の業務内容、財務省を志望した理由、本省一般職の魅力について聞いてみました。

CROSS TALK

現在の業務内容について

折原:私は理財局で財政投融资計画の編成と執行業務を行っています。財政投融资を活用している機関のうち、国土交通省が所管しているもの、例えば鉄道や空港といった運輸に係る機関を担当しており、8月末から12月にかけて、担当する機関における財政投融资額について関係者と調整の上、決定しています。その他、当年度の財政投融资を実際に執行する業務も行っており、投融资先の資金繰りや根拠法令等を確認し、投融资を実行しています。



児玉:私は理財局総務課で、局の幹部のスケジュール管理など理財局全体の業務が円滑に進むよう総括的な目線で局内の調整業務を行っています。スケジュール管理にあたっては、限られた時間を効率よく使えるよう検討し、急用が発生しても影響が最小限で済むように関係者間の調整を行っています。些細なことでも必ず確認し、すぐに情報共有することを意識しています。

櫻井:私は、国際局の開発機関課で途上国に対する開発援助政策に関する業務を行っており、途上国の貧困削減や持続的な経済・社会的発展を支援する国際開発金融機関を通じた資金協力支援に携わっています。なかでも、私は米州開発銀行(IDB)とアフリカ開発銀行(AfDB)を担当しています。業務の一例として、各機関から提案される支援策について、十分な効果が期待できるのか、日本の開発援助政策に沿っているか等の観点から審査を行っています。

林:私は主計局総務課で、国の一般会計予算の

総括(取りまとめ)を行っています。予算編成期には、まず各府省庁から提出される概算要求額の取りまとめから始まり、最終的には各省庁の予算担当によって編成された個別の予算案の取りまとめを行っています。100兆円を超える国の予算の総括というとてもスケールの大きい業務に入省一年目から携われていることを嬉しく思います。

財務省に興味を持ったきっかけや財務省を志望した理由

折原:国民全体の利益向上のために働くことができるという国家公務員の仕事に魅力を感じました。そのうえで財政・金融に興味があったことから経済官庁の説明会に参加し、最終的には、説明会で温かみのある職場の雰囲気の魅力を感じたため財務省を志望しました。

櫻井:私も国民全体のことを考えて働く国家公務員という職業に魅力を感じていました。そのうえで、最終的な決め手となったのは財務省職員の雰囲気でした。学生の時に参加した説明会で、年の離れた職員の方でも親身に相談に乗ってくださったのが印象的でした。

児玉:私も業務内容はもちろん、職員の雰囲気は財務省を志望する大きな決め手となりました。林さんは入省一年目だけど、なぜ財務省を志望したの？

林:志望府省庁を決めるのはとても迷いました。実際、財務省以外にも興味のある府省庁はありましたが、財務省の業務は予算を通じてより多くの政策や人を支えることができると感じました。実際に予算の執行の現場を視察した際には、農林事業に加え、学生時代に興味があった社会福祉事業を複合的に支える現場を目の当たりにし、どの現場にも財務省が担う予算が関わっていることを改めて実感し、今後、様々な分野に携わり業務を行っていけることを嬉しく思いました。

また、櫻井さんがおっしゃったように、職員が

部局を超え、若手で語り合いました！



一人ひとりの受験生に親身に向き合ってくださるのが印象的で、この人達と一緒に働きたい!と、思ってた財務省に決めました。

本省一般職の魅力について

林:本省一般職の魅力は何と言っても、若手のうちから本省内の部局を複数経験できることではないかと思います。既にいくつかの部局を経験されている皆さんは、実際に異動を経験されてみてどうでしたか？

折原:私はこれまで主計局と理財局を経験しました。主計局では予算編成に携わり、現在は理財局で財政投融资計画の編成に携わっていますが、予算と財政投融资では課題に対する支援の仕方が異なり勉強になりました。やはり、こういうところは1つの部局で働いただけでは知ることができないことで、複数の部局で様々な業務を経験できたからこそこの発見だと思えます。

櫻井:それに、財務局、税関、国税局等からの出向者など、様々なバックグラウンドの職員がいる本省の中で、身近に同じ採用元の先輩がいるのは有り難いですね。複数の部局を経験するにあたっては、自分のキャリアプランに結構悩むのですが、その時に若手の先輩はもちろん、複数部局での勤務を経験したベテランの先輩からもお話を聞くことができ、とても心強いし参考になると感じています。



児玉:確かにそうですね。先輩という立場だと、総合職採用や財務局、税関、国税局等からの出向者など様々なバックグラウンドの職員がいる職場で、本省一般職採用の職員と聞くと面倒を



主計局総務課
予算総括第一係

林 花連

HAYASHI Karen
【令和4年入省】

理財局計画官
国土交通第二係

折原 健太

ORIHARA Kenta
【平成30年入省】

国際局開発機関課
開発機関第四係

櫻井 柚香

SAKURAI Yuka
【令和2年入省】

理財局総務課
管理係

児玉 啓晃

KODAMA Hiroaki
【令和元年入省】

見てあげたいなという気持ちになりますね。私は同じ課に後輩がおり、業務面でもそうですが、精神的な面でも支えになればと思って飲み会に誘ったりしています。もしかすると、後輩は迷惑に思っているかもしれませんが。(笑)
林:そんなことないと思います!その後輩は私の同期ですが、児玉さんに飲み会に連れて行ってもらったことを嬉しそうに話してくれます!



折原:身近に先輩後輩がいるのも心強いですよね。私が一年生の時、同期が共同して業務を進める担当にいたため、とても助かりました。本省の業務を幅広く経験できること、また、どの部局にも経験豊富な本省一般職採用の職員

がおり、業務面でもプライベート面でも助け合える環境が整っていることが本省一般職採用の魅力ですね。

財務省を志望する方へのメッセージ

林:実際に職員から話を聞くのが一番だと思います。勉強や面接対策で忙しいとは思いますが、多くの説明会に参加し様々な省庁の人の話を聞く中で、自分が働いているイメージを持てるのかが大事だと思います。それが財務省で、いずれ一緒に働くことができればいいと思います。

折原:私自身も説明会に実際に参加したことで財務省に対する印象が変わりました。時間の許す限り多くの説明会に参加して欲しいと思います。そして、後悔のない就職活動をして欲しいと思います。そのうえで、財務省を希望してくれたら非常に嬉しいです。

児玉:折原さんのおっしゃる通りなのですが、きっとどこに就職しても、ここに入って良かったなという瞬間と大変だなという瞬間のどちらも

あると思います。働き始めてから、自分の選択が正しかったと思えるよう就職活動だけでなく、就職後も一生懸命頑張ることが大切だと思います。就職活動の時点で人生が全て決まるものだと気負い過ぎることなく、就職活動をしてもらえればいいと思います。



櫻井:繰り返しになりますが、実際に職員と会っていただくのが一番いいですね。採用パンフレットを読んだだけではどのように働いているのかイメージが湧かないかもしれません。是非一度、財務省の職員と会っていただきたいです。財務省でお待ちしています!



令和4年採用職員からのメッセージ

令和4年採用職員12名に、就職活動時のことや入省してからの1年間を振り返ってもらいました。

Q1 職場・課内の雰囲気はですか？

- 非常に風通しがよく、自分の意見を素直に伝えることができます。年齢関係なく、上司や先輩に対して自分の意見を話せる場があり、業務にやりがいがあります。昼休みなどは一緒にご飯を食べながら雑談をすることも多く、和気あいあいとした雰囲気も大きな魅力です。
- 風通しがよく、メリハリのある職場です。一日を通して職員同士のコミュニケーションが絶えず、休憩時間には仕事以外の会話で盛り上がることも多々あります。その一方で、業務中は上司や先輩は真剣に業務に向き合っており、その姿はとてまかつよく、自分もそんな職員になりたいと思います。
- 職員一人ひとりがプライドを持って業務に取り組んでいる姿勢を目の当たりにし、学ぶことが多いです。また、主計局では、係で丸となって予算を作っていこう、という前向きな雰囲気があります。業務に関して悩んだときは、上司や先輩にすぐ相談できるので安心です。

Q2 どんなことを心がけて仕事をしていますか？

- どんな業務においても自分の考えを持つようにしています。上司や先輩に仕事の相談をすることが多いですが、その際に仕事を丸投げしないようにしています。自分の考えを伝えることで、仕事に対する責任感が生まれ、やりがいを強く感じることができます。
- 仕事を上手くこなそうとするよりも全力で取り組むこと、そして自分の業務がどんなに小さく目立たないものであっても、最終的には国民生活の基盤を支えることに繋がっているというプライドを持って日々仕事に励んでいます。

Q3 入省してから成長したと思う部分はどんなところですか？

- 落ち着いて仕事ができるようになりました。スピードと正確さのどちらも求められる場面も多いので、業務の優先順位を考えて順番に処理するように心がけています。ミスをしてしまう時もありますが、上司からいただいた「入省当時より確実に成長しているから自信を持ちなさい。」という言葉が励みになっています。
- 物事に優先順位をつけて取り組むようになりました。私の所属している係は日々様々な作業依頼に対応しているため、緊急性と重要性の二つの観点から「今何をすべきか」を考えて業務に取り組むようになりました。

Q4 どんなことを考えて就職活動をしていましたか？

- 自分の直感を大切にしました。就職活動をしていたときは、どの選択肢も魅力的に見え、その中から一つを選ぶことはとても難しいものでした。そこで、最低限選択肢を絞ったうえで最後は直感に任せました。職場の雰囲気やそこで働く職員の人柄など、言葉で説明できない魅力にアンテナを張り、最後は自分を信じるのが大切だと思います。
- 10年後、20年後も働き続けられるかということを考えていました。そのためには、業務内容への関心や仕事へのやりがいはもちろん大切ですが、職員の雰囲気や人柄も重要だと思います。

Q6 財務省を志望する方へメッセージ

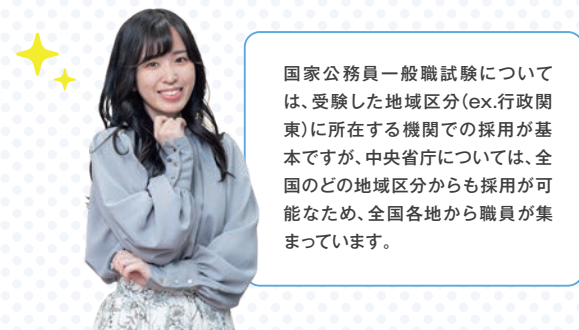
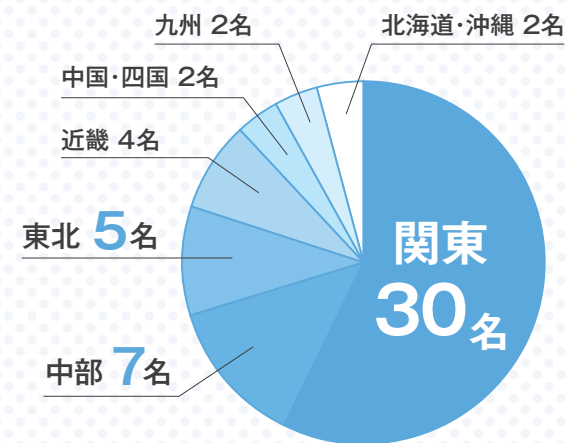
- 私も当時そうでしたが、財務省は忙しく、職員の雰囲気もお堅いイメージがあるかもしれません。しかし、実際は、気さくで楽しい方ばかりです。後輩の面倒見が良く、かわいがってくれる先輩が多いので、1年生でもとても働きやすい環境だと思います。財務省でお待ちしています！
- 財務省の業務は注目度が大きく、私が携わった業務が1年間で数回新聞やネットニュースに載りました。若手の職員であってもそのような業務に携わる機会があり、全ての業務において国の根幹を支えているという自覚を感じて仕事に取り組むことができています。ぜひ説明会に参加して直接職員から様々な体験談を聞いてみてください。

Q5 財務省を志望した理由はなんですか？

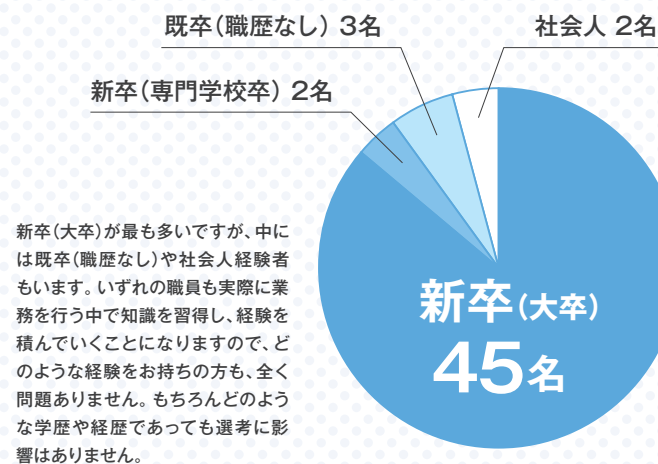
- 説明会に参加した際の財務省職員の優しい人柄に惹かれ志望しました。また、財務省といえば主計局の予算や税制に関する業務のイメージでしたが、そのほかにも様々な業務があり、業務の幅広さを感じたことも理由の一つです。
- 規模の大きな仕事に携わることができることに魅力を感じ、また、これまで学んできたことが活かされ、経験したいことができそうな職場だと感じたからです。
- 財政を通じて他省庁の仕事にも携われる点が魅力的でした。説明会や相談会で職員の方々の仕事に対する誇りやポジティブな姿勢を見て、こんな人達と一緒に日本の未来のために働きたいと思ったことが決め手でした。
- 予算という側面から幅広い事業を支えることができる点に魅力を感じたからです。また、就職活動の際、採用担当の方を始めとした様々な職員の方とお会いし、学生に寄り添う姿勢、自分の業務に誇りを持って働く姿勢に胸を打たれ、このような方々と一緒に働きたいと思いました。



Q1 出身地はどこですか？



Q2 採用時の経歴は？



新卒(大卒)が最も多いですが、中には既卒(職歴なし)や社会人経験者もいます。いずれの職員も実際に業務を行う中で知識を習得し、経験を積んでいくことになりますので、どのような経験をお持ちの方も、全く問題ありません。もちろんどのような学歴や経歴であっても選考に影響はありません。

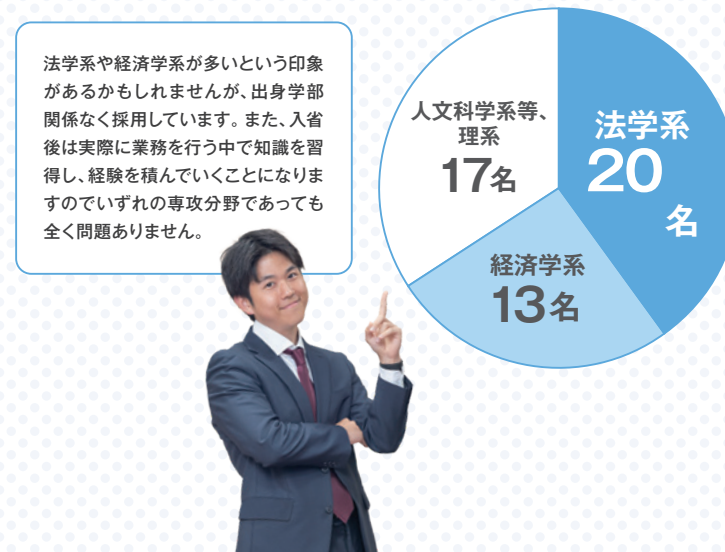
若手職員

若手職員の入省前の経歴・入省後の生活・働き方、若ら入省7年目までの職員(平成28年度～令和4年度)

アンケート

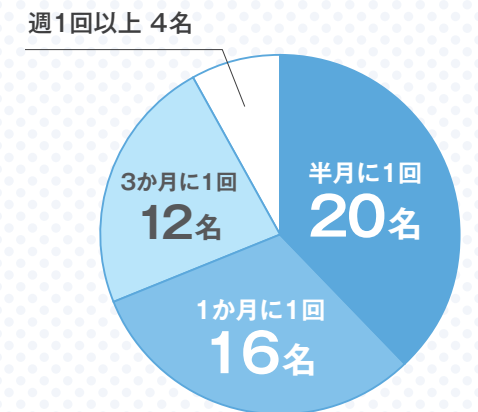
手職員を感じる財務省の魅力について、入省2年目か入省)計52名にアンケートを行いました！

Q3 大学での専攻は？



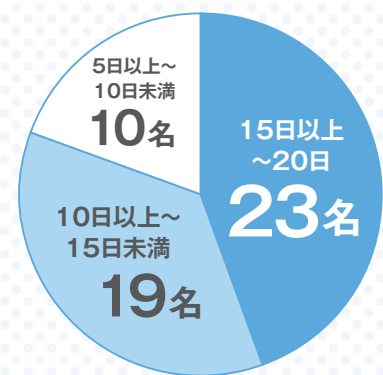
法学系や経済学系が多いという印象があるかもしれませんが、出身学部関係なく採用しています。また、入省後は実際に業務を行う中で知識を習得し、経験を積んでいくことになりますのでいずれの専攻分野であっても全く問題ありません。

Q4 会社の同僚や同期と飲み会や食事等に行く頻度はどれくらいですか？



同僚や同期との飲み会や食事は、リフレッシュできる場でもあり、また、業務で困ったことなどを相談できる場でもあるため、大切な時間です。時には、上司と飲み会や食事をするもありますが、普段はあまり聞くことができないプライベートについても知ることができ、上司の人柄をより知ることによって業務を円滑に行うことにも繋がります。

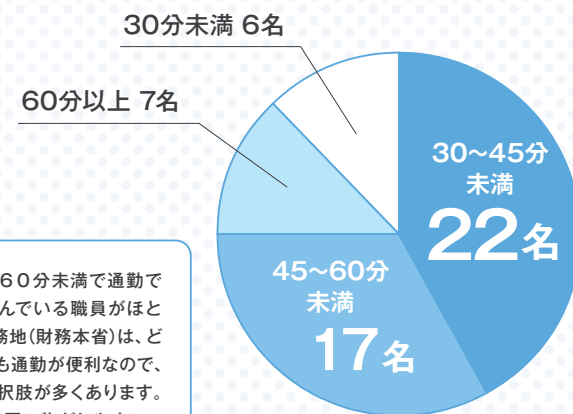
Q5 休暇取得数はどのくらいですか？



財務省は忙しいというイメージがあるかもしれませんが、積極的な休暇の取得が推進されており、気兼ねなく休暇を取得することができます。休暇の活用により、ワークライフバランスを充実させ、心身がリフレッシュされた状態で業務に臨めるような職場環境づくりに取り組んでいます。

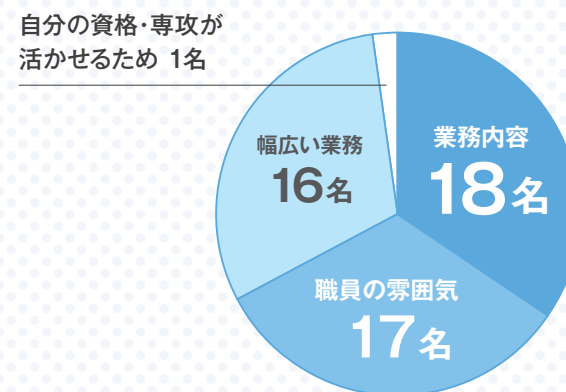


Q6 通勤時間はどのくらいですか？



財務本省まで60分未満で通勤できる場所に住んでいる職員がほとんどです。勤務地(財務本省)は、どの沿線からでも通勤が便利なので、住む場所の選択肢が多くあります。例えば、帰りに買い物しやすいエリアを選んだり、座って通勤できる始発駅があるエリアを選んだりすることもできます。

Q7 財務省を志望した理由は？



財務省は、他の省庁と比べても、業務内容が分かりにくい、業務が複雑そう、職員も固い、といったイメージがあるかもしれませんが。しかし、実際には、国家財政を通じ、多種多様な分野・業務に携わることができ、また、職員も前向きで明るい職員ばかりです。

Q8 財務省の魅力は？

挑戦できる機会がたくさん与えられている職場

日本の基礎をつくる仕事ができる！

業務の幅広さと職員の士気の高さ

優秀で尊敬できる人が多くいること

魅力ある人が集まったチームで、業務を遂行していくことができる！

予算を所管している省庁であるため、様々な他省庁の制度・政策に関わることができる！

採用担当者からのメッセージ

Message from Recruiter

財務省の業務はどれも国の根幹に関わるものであり、かつ分野も多岐にわたります。その中で私たちは財務省としての責務を果たすため、様々な角度から課題と向き合い、議論を重ね、日々奮闘しています。

多岐にわたるこれらの課題に組織が一丸となって取り組むために、明るく元気に会話ができるだけではなく、相手の話を真摯に聞くことができる、物静かでも自分の頭で考え、それを自分の言葉で伝えることができる、など多種多様なカラーを持った人材を私たちは幅広く採用しています。

財務省には皆さんの個性を発揮できるフィールドが広がっています。皆さんとお目にかかれることを楽しみにしています。

人事調査官 岡田 芳明
OKADA Yoshiaki



このパンフレットでは、財務省が担う幅広い業務について、皆さんにできるだけ分かりやすく工夫して作成しました。とはいえ、ここに掲載した説明や職員の体験談だけでは、職員一人ひとりが課題に向き合っている実際の様子を、事細かに伝えることは困難です。ぜひ、財務省にお越しいただき、様々な課題に対して、職員がどのように仕事をしているか、直に話を聞いてみてください。職員の生の声は、きっと皆さんの心に何かを残せるはずです。

様々な課題がある一方、公務という国民一人ひとりのために仕事をするということは、前向きに取り組む志があれば、やりがいも多く得られることができます。私たち採用担当者一同、ぜひ、個性・才能のある皆さんと出会えることを楽しみにしています。

採用担当一同



採用に関してよくあるご質問

Q & A

Q 財務省の業務内容について詳しく知りたいのですが、どうしたらいいでしょうか？

A 財務省では、人事院が全国各地で開催する「一般職各府省合同説明会」の他、各大学・公務員予備校主催の説明会等に多数参加しています。詳しいスケジュールは、随時財務省本省一般職採用HP、または公式Twitterに掲載していますのでご確認ください。

なお、財務省が主催するイベントでは、現役職員による詳細な業務説明や若手職員との座談会を中心とした説明会、財務省の各機関(本省、財務局、税関、国税局)が合同で行う「財務省一般職・専門職セミナー」等様々なイベントを開催しておりますので、是非ご参加ください。



財務省本省
一般職採用HP



公式Twitter

Q 最近の採用実績について教えてください。

A 国家公務員一般職試験(大卒程度)合格者からの採用者数は、令和4年度には12名、令和5年度には11名となっております。過去5年間の採用者状況は以下のとおりです。

	R元	R2	R3	R4	R5
一般職(大卒程度)	7	5	9	12	11
うち女性数	3	3	6	6	5

Q 入省後のサポートや研修制度にはどのようなものがありますか？

A 入省後、西ヶ原(東京都)の研修合同庁舎にて、全国の財務局で採用された職員と、約2か月間の合同研修を行います。この研修では、国家公務員としての基礎知識や財務省職員として必要な専門知識等を習得することだけでなく、一定期間研修所での共同生活を送ることにより研修生間の連帯感を担うとともに、集団内の個人の立場や役割を学びます。また、役職・業務に応じた研修や、各試験等(ファイナンシャル・プランニング技能検定や簿記検定等)の受験をサポートする研修など、自己研鑽できる環境が整っています。

Q 転勤はありますか？

A 地方支分部局(財務局・税関)や政府系金融機関・独立行政法人等へ一定期間出向する場合がありますが、基本的には財務省本庁舎及びその近辺の勤務地での勤務となります。